

生活・環境

下水道整備と 小型合併処理浄化槽設置

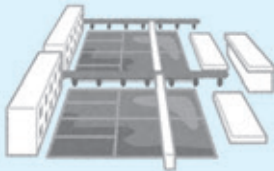


朝長 英美 議員

今回、小型合併処理浄化槽の区域の一部を公共下水道に接続するとのことだが、浄化槽は国県の補助で設置されているにもかかわらず、浄化槽設置区域にも下水道を整備するのか。災害時のリスク分散を考えると、浄化槽設置区域は現在のままにして、下水道整備は行わないほうがよいのではないか。

答

各区域の家屋等の配置状況を鑑み、浄化槽と下水道それぞれの維持管理費用を含めたトータルコストで比較検討し、どちらの方法で整備するか決定している。なお、災害対策として、今後、各家庭で使える災害時用の固めるトイレの備蓄等を進め、災害のリスクに対応したい。



生活・環境

上下水道事業



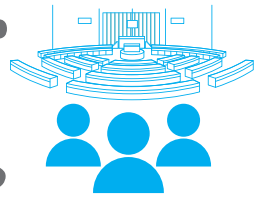
中瀬 昭隆 議員

先日、大阪を中心とする地震があったが、上水道や下水道は災害時に備え、リスク分散が大事である。本市では農業集落排水も下水道へつなぐ計画があるようだが、震災を経験した自治体では、避難所等は浄化槽方式に変えるケースも出てきている。農業集落排水を下水道へつなぐことは十分検討し、リスク分散を図るべきと考えるがどうか。

答

現在、本市の農業集落排水施設は、改築・更新時期を迎えていることから、今後の市全体の汚水処理方針を総合的に検討し、「おおむら汚水処理構想」として取りまとめた。その中で、農業集落排水については、コスト削減のため、公共下水道へ順次接続することとなった。また、災害時のリスク管理については、災害用トイレセットの備蓄や、指定避難所の小中学校にマンホールトイレの整備を進めている。

市政 一般



質問

6月定例会では、16名の議員が質問を行いました。主な内容をご紹介します。

索引

- | | |
|-----------------|--------------------|
| 生活・環境 …………… P6 | 教育・文化・スポーツ … P8~10 |
| 福祉・医療・保健 … P7~8 | 都市整備 …………… P10~11 |
| 産業・経済・労働 … P8 | 行財政・一般 ……… P11~14 |

生活・環境

環境センター 整備検討について



古閑森 秀幸 議員

平成30年2月、大村市環境センター整備検討報告書が提出された。本センターは供用開始から21年経過し、老朽化が進み処理能力が低下しているため、現施設の延命化または新規建て替えを検討する時期に来たとしている。平成41年度の供用開始を目途に検討しているようであるが、どのように計画しているのか。

答

環境センターの整備方針を作成し、①現環境センターを延命化する案②環境センター敷地内に新設する案③環境センター敷地外に新設する案の3案の中から、経済性など複数の観点から比較・検討の結果、②の環境センター敷地内に新設する案が最も経済的に有利と判断し、およそ10年後に新たな環境センターを整備する方針を立てた。

